

第32回那須塩原市子ども・子育て会議 会議録

- 1 日 時 令和4(2022)年10月24日(月)午後6時30分～8時30分
- 2 場 所 西那須野庁舎301～303会議室
- 3 議 題
 - (1) 第2期那須塩原市子ども・子育て支援事業計画(子ども・子育て未来プラン)の中間年見直し(案)について
 - (2) 第2期那須塩原市保育園整備計画の中間見直しについて
- 4 出席者 委員：17名、事務局：15名、計32名

【委員】

浅香委員(会長)、戸田委員(副会長)、馬場委員、布川委員、桑野委員、秋間委員、佐久間委員、平本委員、後藤委員、白澤委員、星野委員、西田委員、山本委員、八木澤委員、柴田委員、石田委員、佐藤委員

【事務局】

(子ども未来部) 田代部長

(子育て支援課) 室井課長、亀田補佐、染谷係長、小川主査、高木主査

(同子ども・子育て総合センター) 菊池所長、東泉補佐

(保育課) 佐藤課長、平田補佐、鍋島主査、吉富係長、阿見副主幹、田中係長

(健康増進課西那須野保健センター) 根本所長補佐

発言者	内 容 (要旨)
事務局	1 開会 第32回那須塩原市子ども・子育て会議を開会する。
会長	2 あいさつ 会長より挨拶
事務局	子ども未来部長より挨拶 委員・事務局の自己紹介
	3 議題 (1) 第2期那須塩原市子ども・子育て支援事業計画(子ども・子育て未来プラン)の中間年見直し(案)について

事務局	資料1及び資料1(追加資料)に基づき説明
会長	質問・意見等はあるか。各々立場からどうか。
委員	現場でも子どもの数が減ってきているのは実感している。特に1号認定の数が減っている。0歳から預けたい家庭が増え、1号から2号への変更希望も多いが、定員が決まっているため対応に苦慮している。また園としては4月から職員体制等を整えているが、入園が先になるケースもあることから経営の負担となっている。市でもニーズに対応した制度を考えてもらいたい。
事務局	令和4年度から、選考方法を一部変更し、民間施設を第1希望とする4～6月入園の0歳児の一定数については、点数によらず優先して決められるようにした。
委員	少子化ではあるが、女性の就業率の向上もあり、放課後児童クラブの利用申し込みも増えている。現在、来年度の入会を受け付けているが、お断りする方も出てしまうと思われる。
事務局	放課後児童クラブの状況は地区ごとに異なる。黒磯地区はニーズに対応できる状況にある。西那須野地区は、若干の不足も予測されたが民間で新規開設や支援増となるため、対応可能と考えている。
委員	学校の現状だが、コロナの影響もあると思われるが、不登校の児童が年々増加している。虐待も本市は多い。家に引きこもりネットやゲーム依存になり、トラブルも増加している。親同士のコミュニケーションも不足する中、しつけなど家庭での子育て支援についても力を入れてもらいたい。
委員	支援を必要とする保護者や子どもは、つながりや情報が不足しいろいろなサービスがある中で利用に至っていない現状にある。いかに必要な情報を伝えていけるかが重要。家族支援の観点で言えば、福祉分野等の関係機関との連携も重要だが、子ども・子育て分野で長年行ってきたことがヒントになると思う。余談だが、大田原市の子育てガイドブックが保護者からの評判がよい。
事務局	児童虐待について、令和4年度の状況だが昨年度よりも減少している。家庭内の養育環境等については、相談があれば支援を行っている。また、本市でも、妊娠期から就学前までの時期における支援内容や連絡先等をまとめたガ

委員	<p>イドブックを作成している。</p> <p>子育てを楽しむ人が減っていると感じる。子育てがつらいと2人目も考えられず少子化対策にならない。女性の負担軽減、子育てのサポート、子どもの育て方を教えることなども考えていく必要がある。</p>
委員	<p>ファミリーサポートセンターの利用が増加しているが、以前と比較すると理由が様変わりしており、サポートの7割が送迎となっている。ニーズに対しサポーターを確保できるかを危惧している。地域子育て支援拠点では、子どもを育てるのが楽しいと思え、人生を前向きに生きていけるよう応援し向き合っている。産後の復帰が早いこともあり、いかにして産前から切れ目のない支援をしていけるかが課題となっている。</p>
委員	<p>子育てに係る経済的な負担もあり次の子を考えにくい状況。子育てにつらくなるときもあるが、学校や保育園の先生など周りに支えられている。</p>
事務局	<p>(2) 第2期那須塩原市保育園整備計画の中間見直しについて 資料2に基づき説明</p>
会長	<p>質問・意見等はあるか。</p>
委員	<p>保育施設や児童クラブなどの潜在的なニーズはあり、後々、ゲームやネット依存、いじめ、虐待などの問題にもリンクしてくると思われる。市として解決策はあるのか。</p>
事務局	<p>人間関係の希薄化などにより、家庭での困り事や子どもの実態が見えにくくなっている。現在、社会福祉課において地域共生社会の取り組みを進めており、地域見守り隊や地区の社会福祉協議会等の仕組みにより、近所でお互いに助け合う地域づくりを進めている。</p>
会長	<p>(3) その他 質問・意見等はあるか。 (特になし)</p>

会長	4 その他 質問・意見等はあるか。 (特になし)
事務局	5 閉会 以上で、第32回那須塩原市子ども・子育て会議を閉会する。 <p style="text-align: right;">以上</p>